

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2015年3月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

## MUJI+クリエイティブゼミ いつものもしも考

### ふだん使いできるモノで災害時を考える 開催

備えは日常の中にあることが大切であり、それらを普段から使いこなせていることが本当の防災力になります。災害時のシチュエーションやその状況下での対応などを考察し、無印良品のアイテムを用いて、ふだん使いできるモノの災害時における使い方を考え、「モノの見方」を再考する力を養うことを目指します。

「モノ」の隠れた使い方を見つけ出したり、モノとモノの組み合わせで新たな使い方を発見したり、またそうした行為を通じて新しい「いつものもしも」の提案へとつなげます。アイデアや発想を探求するこのゼミにぜひ奮ってご参加ください！

MUJI+クリエイティブゼミ  
いつものもしも考  
ふだん使いできるモノで災害時を考える

| 日時 | 2015年3月3日(火)～26日(木) 19:15～21:15 全4回

| 会場 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) ほか

| 参加費 | 無料 | 定員 | 20名 (事前申込み制、先着順)

| 申込み | 2015年2月20日(金) 11:00 からウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付開始

| 講師 | 高橋 孝治 / デザイナー (株式会社良品計画)

永田 宏和 / デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸、株式会社良品計画 | 協力 | NPO 法人プラス・アーツ

#### ●講師プロフィール

高橋 孝治 (たかはし こうじ) / デザイナー / 株式会社良品計画

1980年大分県生まれ。2004年多摩美術大学生産デザイン学科プロダクトデザインコース卒業。2005年より株式会社良品計画生活雑貨部企画デザイン室に勤務し、無印良品の生活雑貨の企画開発、防災プロジェクト「いつものもしも」の企画開発を行う。2012年より、KIITOに開設された、MUJI+クリエイティブスタジオの企画運営を兼務。フリーランスとしても活動中。

永田 宏和 (ながた ひろかず) / デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長

1968年兵庫県生まれ。企画・プロデューサー。1993年大阪大学大学院修了後、大手建設会社勤務を経て、2001年「iop都市文化創造研究所」を設立。2006年「NPO法人プラス・アーツ」設立。2012年8月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) の副センター長を務める。主な企画・プロデュースの仕事に、「水都大阪 2009・水辺の文化座」、「イザ!カエルキャラバン!」(2005～)、「地震 EXPO」(2006)、KIITO オープニングイベント「ちびっこうべ」(2012) などがある。

お問合せ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日 (祝日または振替休日の場合はその翌日)、年末年始 (12/29-1/3)

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既成概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2015年3月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

## トークシリーズ

### 「コミュニティ×アート プラクティス」開催

現在日本各地で、アートが美術館やコマーシャル・ギャラリーといった「アート・ワールド」を飛び出し、私たちの生活にとってより身近に存在するようになってきました。そのような中で、アーティストや作品と、社会における様々な分野との結節点を作り出し、プロジェクトの性格を方向づけ推進する役割の重要性が増しているといえるでしょう。

今回のトークシリーズでは、特定の地域やコミュニティ（共同体）に軸足を置きアート・プロジェクトを行う、20歳代から30歳代にかけてのアート・ディレクターやプロジェクト・マネージャーをゲストにお招きします。これまでの活動を紹介いただくだけでなく、今まさに直面している課題や悩んでいること、今後の展望などについてもお聞きします。

アート・プロジェクトの仕事は、様々なステークホルダーの存在や、それぞれの活動を取り巻く環境を踏まえながら、密なコミュニケーションや連絡調整を経たからこそ生み出さる「妙」ともいえる面白さがあり、手法や観点はその人によって様々です。それぞれのゲストの仕事の「妙」に迫ります。

| 日時 | 2015年3月4日(水)、19日(木)、26日(木) 19:30~20:00

| 会場 | KIITO 1F カフェ

| 参加費 | 各回 500円 (1ドリンク付き)

| 定員 | 各回 40名 (事前申込み制、先着順)

| 申込み | 2015年2月20日(金) 11:00からウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付開始

| ゲスト | 羽原 康恵 (取手アートプロジェクト (TAP))、白井 隆志 (アーティスト・イン・児童館)

芦立 さやか (東山 アーティスト・プレイスメント・サービス (HAPS))

| 聞き手 | 小林 瑠音 (應典院アート・ディレクター/文化政策研究者)

松本 ひとみ (デザイン・クリエイティブセンター神戸)

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

#### ●スケジュール

- ・2015年3月4日(水) 19:30~20:00 ゲスト: 羽原 康恵
- ・2015年3月19日(木) 19:30~20:00 ゲスト: 白井 隆志
- ・2015年3月26日(木) 19:30~20:00 ゲスト: 芦立 さやか

## ●プログラム

2015年3月4日(水) 19:30~21:00

ゲスト:羽原 康恵

1999年から市民と取手市、東京芸術大学の三者が共同で行っている「TAP」。その事務局機能を担う「特定非営利活動法人 取手アートプロジェクトオフィス」の設立に携わり、2014年までの5年間、事務局長を務められた羽原さんをお迎えします。携わったプロジェクトや、組織体制づくりについてご紹介いただきながら、羽原さん自身の問題意識や今後の展望、組織の自律性や持続可能性についても取り上げます。

2015年3月19日(木) 19:30~21:00

ゲスト:臼井 隆志

2008年より、東京都練馬区の児童館をオルタナティブな芸術・自治・教育の場とし、0歳から18歳の多様な年齢の子どもたちの新たな放課後の文化環境の創出を目指す「アーティスト・イン・児童館」を立ち上げ、現代美術家や劇団、建築家らと小学生、中高生、乳幼児親子とのプロジェクトを生み出してきた臼井さん。東京の郊外の子どもたちと寄り添う7年間の活動をふまえ参加者のみなさんとともに「子ども×アート×社会」についての意見交換を行います。

2015年3月26日(木) 19:30~21:00

ゲスト:芦立 さやか

不動産紹介や展覧会サポートなどを通して、アーティストが活動していく環境を作り出す「HAPS (ハップス)」。京都市からの委託を受け、観光地の多い東山区を拠点に2011年より活動中。少子高齢化が進む地域の問題を解決する取り組みとしても大きな役割を担っています。事務局長の芦立さんをお迎えし、HAPS 以前のご経歴も含めた、アートと社会をつなぐための多岐にわたる仕事についてお伺いします。

## ●ゲストプロフィール

## 羽原 康恵 (はばら やすえ) /アートコーディネーター/NPO 法人取手アートプロジェクトオフィス理事

1981年高知県生まれ、広島、三重育ち。筑波大学国際総合学類卒業、同大学院人間総合科学研究科芸術学専攻(芸術支援学)修了。院生時代に取手アートプロジェクト(TAP)にインターンとして関わる。財団法人静岡県文化財団企画制作課プランナーとして複合文化施設での企画運営を経て、結婚・出産を機に取手に戻り、2010-14年取手アートプロジェクト実施本部事務局長。

## 臼井 隆志 (うすい たかし) /アーティスト・イン・児童館プログラムディレクター

1987年東京都生まれ。2008年より練馬区を拠点に、子どもの遊び場である児童館をアーティストのアトリエとして活用するプログラム「アーティスト・イン・児童館」を開始。同事業の企画・運営を担当している。2012年度より特定非営利活動法人アーティスト・イン・児童館の理事を務める。2011年より、現代美術家の西尾美也によるファッションブランド「FORM ON WORDS」制作スタッフ。2015年より、伊勢丹新宿店による教育サービス「COCOIKU」専任スタッフ。

## 芦立 さやか (あしだて さやか) /東山 アーティスト・プレイスメント・サービス実行委員会 (HAPS) 事務局長

東山アーティスト・プレイスメント・サービス実行委員会 (HAPS) 事務局長 1982年北海道生まれ。2005年武蔵野美術大学芸術文化学卒業。卒業後、BankART1929(横浜)で勤務。同時期に吉田有里と共にYOSHIDATE HOUSE(横浜)をオープン。BankART退職後、様々なプロジェクトで展覧会制作やアーティストのコーディネート等に関わる。2010年9月より1年間、NYに拠点を持つアーティスト・イン・レジデンスのコーディネートを行う Residency Unlimitedでインターンとして関わる。2011年より京都市内にてHAPS事務局で勤務。

## ●聞き手プロフィール

## 小林 瑠音 (こばやし るね) /應典院アート・ディレクター/文化政策研究者

1982年京都生まれ。英国ウォーリック大学文化政策研究科ヨーロッパ文化政策・マネジメントコース修士課程修了。現在、浄土宗應典院にて、現代美術の展覧会や子どもとアートをつなぐプログラムの企画・運営等を行う。同時に、神戸大学大学院国際文化学研究所博士後期課程に在籍。専門は文化政策。共著に『公共文化施設の公共性 運営・連携・哲学』(水曜社、2011)、『岸和田市文化財団ドキュメントブック 浪切ホール 2002-2010 いま、ここから考える地域のこと、文化のこと』(水曜社、2012)など。

## 松本ひとみ (まつもと ひとみ) /デザイン・クリエイティブセンター神戸

1986年熊本県生まれ。2011年大阪大学大学院文学研究科修了後、P3 art and environmentに入社。2012年よりKIITOのアート関連事業を担当。最近の企画事業に「セルフ・ビルド・ワークショップ 生意気とつくるKIITOの庭」、KIITOアーティスト・イン・レジデンス「濱口竜介『自分が誰なのか言ってもらえませんか?』」、「西尾美也『ちびっこテラープロジェクト』」、「柴幸男+NO ARCHITECTS『まち歩きでつくる小説と地図』」、また編集に『神戸スタディーズ—時間と空間を横断しながら、足元を見つめる』などがある。

お問い合わせ: デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230 info@kiito.jp http://kiito.jp/

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日(祝日または振替休日の場合はその翌日)、年末年始(12/29-1/3)

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既成概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2015年3月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

### +クリエイティブレクチャー

## 売り言葉と買い言葉。2

—KIITO から生まれた、まちを元気にする言葉—開催



2011年のKIITOのレクチャーから生まれた「売り言葉と買い言葉。」その第2弾を開催します！コピーライターの岡本欣也が、これまでにつくった広告コピーの数々や、震災20年を機に神戸からのメッセージを発信する「BE KOBE」、神戸のデートの思い出を集め、紹介していく「date.KOBE」など、KIITOが関わるまちを元気にするコピーをご紹介します。どんな過程でそのメッセージは生まれたのか。

いかなる経緯で別案コピーは捨てられたのか。神戸のコピーやその他の事例が世に出るまでのあれこれを、すこし細かめに語ります。おまけコーナーとして、まちなかにあるすてきなコピー「まちのコピー」もご紹介。(時間があれば)。

| 日時 | 2015年3月5日(木) 19:00~21:00 | 会場 | KIITO 3F303

| 参加費 | 無料 | 定員 | 80名(事前申込み制、先着順)

| 申込み | 2015年2月20日(金) 11:00からウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付開始

| 講師 | 岡本 欣也 / コピーライター(株式会社オカキン) | 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

#### ●講師プロフィール

岡本 欣也 (おかもと きんや) / コピーライター / 株式会社オカキン

1969年生まれ。1994年岩崎俊一事務所入社。2010年オカキン設立。おもな仕事は、日本、たばこ産業「大人たばこ養成講座」シリーズ、「あなたが気づけばマナーは変わる。」、グリコ「あ、大人になってる。」ホンダ「ハイブリッドカーはエコで終わるな。」、キリンフリーの開発・ネーミングなど。日本郵政「年賀状は、贈り物だと思う。」やミツカン「やがて、いのちが変わるもの。」など岩崎俊一氏との共同作業も多数。

お問合せ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日(祝日または振替休日の場合はその翌日)、年末年始(12/29-1/3)

デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2015年3月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくお申しあげます。

## KIITO アーティスト・イン・レジデンス 柴 幸男+ NO ARCHITECTS ワークショップ「まち歩きでつくる小説と地図」開催

本ワークショップでは、演劇をより身近な存在にすることをめざす劇団「ままごと」主宰の柴幸男さんとともに、三宮を舞台とする小説を作ります。

神戸にゆかりを持ち、誰もが「居場所」としての建築を作るための機会を生み出してきた建築ユニット

「NO ARCHITECTS」のお二人をコラボレーターとして迎え、二組の作家の視点を交えながら、一緒にまち歩き。

その後、気づいたことやキーワードをひとつの地図に集め、それらを使って短い小説を作ります。

ワークショップの成果は、柴さんにより後日制作される、三宮を舞台とする新作戯曲に生かされる予定です。

物語を生み出す手法を学びながら、まちとの新たな関わりを生み出す小説作りをしてみませんか。

- | 日時 | 2015年3月14日(土)、15日(日) 13:00~18:00 | 会場 | KIITO 3F 303 (集合場所)
- | 参加費 | 無料 | 定員 | 20名 (事前申込み制、先着順) ※両日とも参加可能な方のみお申し込みください。
- | 申込み | 2015年2月20日(金) 11:00 からウェブサイト (<http://kiito.jp/>) にて申込み受付開始
- | 講師 | 柴幸男 (劇作家・演出家)、NO ARCHITECTS (建築家)
- | 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

### ●プログラム

|                           |                           |
|---------------------------|---------------------------|
| 1日目: 3月14日(土) 13:00~18:00 | 2日目: 3月15日(日) 13:00~18:00 |
| 13時~ イントロダクション            | 13時~ レクチャー                |
| 14時~ まち歩き                 | 14時~ 地図づくり                |
| 16時~ まち歩き結果の共有とまとめ        | 15時~ 小説づくり                |
|                           | 16時~ 作品の共有とまとめ            |

### ●講師プロフィール

#### 柴 幸男 (しば ゆきお) / 劇作家・演出家/ままごと主宰

1982年生まれ、愛知県出身。青年団演出部所属。2010年「わが星」にて第54回岸田國士戯曲賞を受賞。何気ない日常の機微を丁寧にすくい取る戯曲と、ループやサンプリングなど演劇外の発想を持ち込んだ演出が特徴。全編歩き続ける芝居『あゆみ』、ラップによるミュージカル『わが星』、など、新たな視点から普遍的な世界を描く。2013年は「瀬戸内国際芸術祭」に参加し、小豆島(香川県)で滞り制作を敢行。また「象の鼻テラス」(横浜)では、パブリックスペースという特徴を生かし、流れる人と時間をそのまま劇中に取り込んだ作品づくりを行っている。

#### NO ARCHITECTS (ノアーキテツ) / 建築家

西山広志(1983年大阪市生まれ)と奥平桂子(1983年神戸市生まれ)により共同主宰。

2009年、神戸芸術工科大学大学院修士課程鈴木明研究室を共に修了し、nishiyamahiroshiokudairakeikoとして活動を開始。2011年、大阪市此花区への事務所移転に伴いNO ARCHITECTSに名称変更。現在、建築をベースに、設計やデザイン、インスタレーション、ワークショップ、会場構成、まちづくりなど幅広く活動している。2015年3月14日より29日まで、神戸・元町 space eauuuにて展覧会「NO SHOP KOBE」を開催予定。

お問い合わせ: デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230 info@kiito.jp <http://kiito.jp/>

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日 (祝日または振替休日の場合はその翌日)、年末年始 (12/29-1/3)

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既存概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2015年3月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

## ものづくりワークショップ KNOCKS:BESPOKE 内尾さんと、 バブーシュをつくる。開催



生活の中で使っているものの出来上がるまでのプロセスを、プロの技と知識に触れながら自らの手で辿っていくことで、ものの価値やつくり手の想いを体感する場、「ものづくりワークショップ」。

今回のものづくりワークショップでは、日本ではルームシューズとして親しまれているモロッコの伝統的な履物、「バブーシュ」をつくるワークショップを開催します。

様々な種類の革から好きなものを選び、今回のためにデザインされた型紙を元に裁断をするところから始めます。

| 日時 | 2015年3月15日(日) 10:00~18:00 | 会場 | KIITO 1F カフェ

| 参加費 | 6,000円(制作したバブーシュはお持ち帰りいただけます。)

| 定員 | 10名(事前申込み制、先着順) | 持ち物 | 昼食、汚れてもいい服装

| 申込み | 2015年2月20日(金) 11:00からウェブサイト(<http://kiito.jp/>)にて申込み受付開始

| 講師 | 内尾 暢志(KNOCKS:BESPOKE) | 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

### ●スケジュール

|       |            |       |        |
|-------|------------|-------|--------|
| 10:00 | サイズを決める    | 12:00 | 休憩     |
| 10:15 | 革を選ぶ       | 13:00 | 縫製する   |
| 10:30 | 型紙から革を裁断する | 17:00 | 仕上げをする |
| 11:30 | 縫製する       | 18:00 | 完成、終了  |

### ●講師プロフィール

内尾 暢志(うちお のぶゆき) / 靴職人・デザイナー / KNOCKS:BESPOKE

神戸在住。建築、グラフィックを学び、靴作りの道へ。神戸の和田岬にもものづくりに携わる友人と「KNOCKS:BESPOKE」をオープン。プライベートブランド「JOHNWILLIAMHart」を立ち上げ、オーダー靴を中心に制作している。また、「ミサキシューズ」「シアワセノクツ」などの制作も手がける。

[www.johnwilliamhart.com](http://www.johnwilliamhart.com)

お問合せ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230 [info@kiito.jp](mailto:info@kiito.jp) <http://kiito.jp/>

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日(祝日または振替休日の場合はその翌日)、年末年始(12/29-1/3)

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既成概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2015年3月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

## Contact Improvisation Meeting in Japan 6<sup>th</sup>

～ 触れることから始まるコミュニケーション ～ 開催



コンタクト・インプロヴィゼーション（以下 CI）は 70 年代前半にアメリカにおいてダンス・スキルとして開発されました。「触れる、感じる」といった身体と身体によるやりとりは、言葉を使わないコミュニケーションとして、ダンス以外の舞台芸術、アート、建築、教育、福祉、医療の現場にも取り入れようという動きもみられるようになりました。Contact Improvisation Meeting in Japan 6<sup>th</sup>では CI を用いた創作、指導を行うダンサー、振付家をはじめ、「触れること」をテーマに建築、音楽等の分野で活躍する専門家を迎えて、実技とトーク・セッションを行います。それぞれのプログラムでは、「触れることから始まるコミュニケーション」をテーマに各方面で活躍する専門家と参加者各々の経験も加わり、多様な視点から、各フィールドにおける新たな境地を模索することを目指します。

| 日時 | 2015 年 3 月 20 日（金）～22 日（日）、全 9 プログラム | 会場 | KIITO 1F

| 参加費 | 有料/プログラムにより異なります。 | 定員 | プログラムにより異なります。（事前申込み制、先着順）

| 申込み | 2015 年 2 月 20 日（金）11:00 からウェブサイト（<http://kiito.jp/>）にて申込み受付開始

| 講師 | Monochrome Circus、他

| 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸 | 協力 | Dance & Environment

●プログラム

<Talk Session>-----

ナビゲーター：富田 大介

ダンス批評、身体文化研究の富田大介さんをナビゲーターとして、「触覚」を楽しむさまざまな現場で活躍するアーティストや学者（ダンサー/建築家/文化人類学者）をゲストに迎え、多様な角度より「触れることから始まるコミュニケーション」について意見を交えます。

| 参加費 | 各回 1,000 円 | 定員 | 各回 30 名

①「コンタクト・インプロヴィゼーションの日本における広がり可能性」

| 日時 | 3月20日（金）18：00～19：00

| 講師 | 鹿島 聖子、坂本 公成、森 裕子+各地で活躍するCIダンサー、指導者

②「触れ合いー新たな身体知の探究」

| 日時 | 3月21日（土）11：00～13：00

| 講師 | 広瀬 浩二郎

③「空間とコンタクト」

| 日時 | 3月21日（土）19：45～20：45

| 講師 | NO ARCHITECTS、坂本 公成

<コンタクト基礎>-----

ダンサー、CI指導者として豊富な経験を持つ二人の講師による基礎クラス。3つのテーマから紐解きます。

| 講師 | 鹿島 聖子 × 森 裕子 | 参加費 | 各回 1,000 円 | 定員 | 各回 20 名

①「ふれる」・・・ | 日時 | 3月20日（金）19：15～21：15

②「支える」・・・ | 日時 | 3月21日（土）14：00～16：00

③「流れる」・・・ | 日時 | 3月22日（日）11：00～13：00

<建築とコンタクト>-----

建築家ユニット NO ARCHITECTS と振付・演出家で長年 CI の指導にもあたっている坂本公成と共につくるクリエイション・クラス。旧生糸検査場をリノベーションした“KIITO “の空間を探索しながら、ダンスを作っていきます。自身の身体という「内側」と、他者の身体や、モノ、空間といった「外側」にある環境とのつながりを見つめ直しながら動いてみましょう。

| 講師 | NO ARCHITECTS × 坂本 公成

| 日時 | 3月21日（土）16：30～19：30 | 参加費 | 各回 1,500 円 | 定員 | 30 名

<コンタクト応用>-----

ダンス・カンパニー Monochrome Circus のレパートリー作品『最後の微笑』を観賞後、実際に振付を学びます。CI を用いた作品の構造を解析、体感してみましょう。

| 講師 | Monochrome Circus

| 日時 | 3月22日（日）14：00～16：00 | 参加費 | 1,000 円 | 定員 | 各回 20 名

<音とコンタクト>-----

音楽家の野村誠のリーディングで音の即興とダンスの即興のジャム・セッション後、プログラムの締めくくりとして、3日間を振り返ります。

| 講師 | 野村 誠 × 坂本 公成 × 富田 大介

| 日時 | 3月22日（日）16：30～19+：30 | 参加費 | 1,500 円 | 定員 | 30 名 | 持ち物 | 音の出るもの

## ●講師プロフィール

## 鹿島 聖子 (かしま しょうこ)

千葉県出身。お茶の水女子大学大学院人文科学研究科舞踊教育学専攻修了。2002年に文化庁在外研修でニューヨークへ留学。コンタクト・インプロヴィゼーション・グループ C.I.co.の共同ディレクターとして、勝部ちこと共に、コンタクト・インプロヴィゼーションのWSや公演活動、フェスティバル運営、国際企画等に参加し研究・交流活動が続ける。アジア4カ国で協同するフェスティバル - i-Dance Japan を2013年より開催。プロフェッショナル・フォトグラファーとしても各種撮影で活動中。共著「協同と表現のワークショップ」(2010 東信堂)。NHK ドラマ「はつ恋」(2012)のエンディングに出演。2012年鹿児島に移住。www.ci-jp.com

## 坂本 公成 (さかもとこうせい)

ダンスカンパニー Monochrome Circus 主宰。リヨンビエンナーレ ('00)、ペイツ・ダンスフェスティバル ('02)、香港芸術節 ('05)、フェスティバルドートヌ ('09)、混浴温泉世界 ('09)、瀬戸内国際芸術祭 ('10)、鳥の演劇祭 ('12) など17カ国で作品を発表。「身体と身体への対話」というテーマからコンタクト・インプロヴィゼーションの普及や開発に興味を持ち、更に空間、コミュニティ、建築、とその射程を広げている。平成19年度京都市芸術新人賞受賞。現天理医療大学および京都精華大学非常勤講師。

## 富田 大介 (とみた だいすけ)

Metz大学(現 Lorraine 大学: フランス)、神戸大学大学院で学んだ後、2012年4月より大阪大学大学院国際公共政策研究科特任助教。2014年4月より特任講師。学術博士(神戸大学大学院)。専攻は美学、身体文化研究、ダンス。近年はジェローム・ベルやレジヌ・ショピノの作品に出演。主な論考に「土方巽の心身関係論」(『舞踊学』第35号)等がある。2012~2014年、京都芸術センター通信「明倫 art」にて Dance Review 欄を担当。今年度の大阪大学「声なき声、いたるところにかかわりの声、そして私の声」芸術祭 II では、旧新田小学校におけるジョアン・ガルスアの映像・写真展や旧石橋職員宿舎におけるクリッシー・ティラーの演劇 WS の事業を担当(「AIR (アーティスト・イン・レジデンス)」プログラム)

## NO ARCHITECTS (ノアーキテツ)

建築家。西山広志(1983年大阪生まれ)と奥平桂子(1983年神戸生まれ)による共同主宰。2009年神戸芸術工科大学大学院修士課程を共に修了し、nishiyamahiroshiokudairakeikoとして活動を開始。2011年大阪市此花区への事務所移転に伴い NO ARCHITECTS に名称変更。2012年-14年神戸芸術工科大学 非常勤講師(西山)。現在、建築をベースに、設計やデザイン、インスタレーション、ワークショップ、会場構成、まちづくりなど幅広く活動中。http://noarchitects.jp/

## 野村 誠 (のむら まこと)

作曲家/ピアニスト。作品に、40m×8mの五線の畑「音楽畑」を開墾、タイとインドネシアで原発をテーマに共同作曲プロジェクト、廃棄瓦を楽器として演奏する「瓦の音楽」、1010人で演奏する「千住の1010人」など。CDに「ノムラノピアノ」ほか、著書に「即興演奏ってどうやるの」(あおぞら音楽社)、「老人ホームに音楽がひびく」(晶文社)などがある。日本センチュリー交響楽団コミュニティ・プログラム・ディレクター、「千住だけじゃ音楽祭」音楽監督。JACSJA(日本相模間芸術作曲家協議会)理事。

## 広瀬 浩二郎 (ひろせ こうじろう)

1967年、東京都生まれ。13歳の時に失明。筑波大学附属盲学校から京都大学に進学。2000年、同大学院にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、触文化論。01年より国立民族学博物館に勤務。現在は民族文化研究部 准教授。13年8月から14年3月まで、シカゴ大学の客員研究員として米国に滞在。主な著書に以下のようなものがある。

- 【単著】『障害者の宗教民俗学』(明石書店、1997年)、『さわる文化への招待』(世界思想社、2009年)
- 【編著】『万人のための点字力入門』(生活書院、2010年)、『さわって楽しむ博物館』(青弓社、2012年)
- 【共著】『さわっておどろく!』(岩波ジュニア新書、2012年)

## Monochrome Circus (モノクローム・サーカス)

京都を拠点に活躍するコンテンポラリーダンス・カンパニー。1990年に設立。主宰坂本公成。「身体をめぐる/との対話」をテーマに国内外で活躍。これまでに作品は海外18カ国で紹介されている。上演回数約300回となるアウトリーチ的プロジェクト「収穫祭シリーズ」を経て、『掌編ダンス集』と銘打つ大小の作品群10作品をはじめ、海外振付家による2作品、grafとのコラボレーション『TROPE』、最新作『HAIGAFURU』などのレパートリー15作品をもつ。また「瀬戸内国際芸術祭2010」で発表した「直島劇場」など、サイト・スペシフィック・ダンスや、コミュニティ・ダンスなどのプロジェクトも展開している。

## 森 裕子 (もりゆうこ)

ダンサー・振付家。ダンサーとしてアヴィニヨン演劇祭、パリ市民劇場、モンペリエダンスフェスティバルなど数多くの国際的舞台に立つ。'96年より Monochrome Circus のメンバーとして、上演300回を超える「収穫祭」プロジェクトや、『掌編ダンス集』『直島劇場』『TROPE』『HAIGAFURU』など、カンパニーの主要作品に出演。小柄で中性的な身体、そして機敏な動きが魅力。指導者としても水戸芸術館 ACM 劇場や北九州芸術劇上などの劇場や、TOYOTAなどの研修や、生涯大学など幅広い層に各地でコンタクト・インプロヴィゼーションや「身体への気づき」のワークショップを多数行う。踊ることの根源的な「楽しさ」を伝えたいと願っている。

## &lt;ゲスト参加者&gt;

宝栄美希 (CI部・東京)、手代木花野 (CI部・東京)、服部哲郎 (afterimage・名古屋)、  
Lata Tomoko Takahashi (新潟)、玖島雅子 (ART COMPLEX HIROSHIMA・広島)

お問い合わせ: デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230 info@kiito.jp http://kiito.jp/

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日 (祝日または振替休日の場合はその翌日)、年末年始 (12/29-1/3)

デザイン・クリエイティブセンター神戸（KIITO）は、デザインを人々の日常生活に採り入れ、より豊かに生きることを提案しています。またデザインやアートの持つ、既成概念にとらわれない自由な視点で、多種多様な人々の交流から生まれるアイデアや工夫により、社会的な問題を解決していく、+クリエイティブという手法を実践するプログラムを開催しています。2015年4月に開催する催事をご案内いたしますので、取材や掲載のご協力いただけますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

## ものづくりワークショップ うたたね 山極さんと、 ツールをつくる。開催



生活の中で使っているものの出来上がるまでのプロセスを、プロの技と知識に触れながら自らの手で辿っていくことで、ものの価値やつくり手の想いを体感する場、「ものづくりワークショップ」。

今回のものづくりワークショップでは、座っても、花台などとしても使えて気軽に持ち運べ、暮らしの中で活躍してくれるシンプルなツールを作ります。昔ながらの構造を用いて手作業で形にします。

| 日時 | 2015年4月12日（日）10:00～16:00 | 会場 | KIITO 1F カフェ  
| 参加費 | 5,000円（制作したツールはお持ち帰りいただけます。）  
| 定員 | 15名（事前申込み制、先着順） | 持ち物 | 昼食、汚れてもいい服装  
| 申込み | 2015年3月20日（金）11:00からウェブサイト（<http://kiito.jp/>）にて申込み受付開始  
| 講師 | 山極 博史（うたたね） | 主催 | デザイン・クリエイティブセンター神戸

### ●スケジュール

|                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 10:00 座面を切出す     | 13:30 座面と脚を接合する   |
| 11:30 座面にヤスリがけする | 14:00 座面表面、脚を調整する |
| 12:00 休憩         | 15:00 仕上げ塗装をする    |
| 13:00 脚部材を調整する   | 16:00 完成、終了       |

### ●講師プロフィール

山極 博史（やまぎわ ひろふみ）／家具デザイナー／うたたね

1970年大阪生まれ、宝塚造形芸術大学産業デザイン科卒業。カリモク家具株式会社にて商品開発に携わり、その後長野の松本技術専門学校にて家具製作を学ぶ。工房でのアシスタント等を経て、1999年「うたたね」を立ち上げ。コミュニケーションを大切に、手で考え、手でデザインし、日常に溶け込む家具や生活道具を生み出す。[www.utatane-furniture.com](http://www.utatane-furniture.com)

お問合せ：デザイン・クリエイティブセンター神戸 広報担当

〒651-0082 兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4 TEL 078-325-2235 FAX 078-325-2230 [info@kiito.jp](mailto:info@kiito.jp) <http://kiito.jp/>

開館時間 11:00-19:00 入館料無料 休館日 月曜日（祝日または振替休日の場合はその翌日）、年末年始（12/29-1/3）